

社団法人私立大学情報教育協会

平成25年度 第3回産学連携推進プロジェクト委員会議事概要

- I. 日 時：平成25年12月16日（月）午後1時30分～午後3時10分
- II. 場 所：アルカディア市ヶ谷 私学会館 会議室（7F）
- III. 参加者：向殿委員長、大原副委員長、東村委員、田辺委員、家本委員、白崎委員、辻村委員、松本委員、齋藤アドバイザー、青木アドバイザー、吉永アドバイザー、桑原アドバイザー（代）、滝嶋アドバイザー（代）、木下アドバイザー、和田アドバイザー、井端事務局長、森下、坂下
- IV. 資 料： 1. 未来を切り拓く「志」を支援する社会スタディの場参加募集要項  
2. 第5回 産学連携人材ニーズ交流会開催要項（案）  
3. 平成26年2月、3月開催予定の企業現場研修概要  
（株式会社内田洋行：2/21 開催 、日本電気株式会社3/7 開催）

V. 検討内容

1. 社会スタディの場の参加募集について

- (1) 実施計画について資料1に基づき募集対象、応募方法、応募締切り、参加者の確定、応募先URL、開催日時・場所、有識者の説明と意見交流、プログラムの進め方などについて検討した。特に今回は12/16現在の応募状況を踏まえ、応募者の増員方法、小論文の審査方法等について重点的に検討した。
- 事務局として案内状の送付は加盟大学および国公立大学（首都圏）に11月26日に発送し、当協会の各委員会の先生方にもメールにて協力要請をおこなった。
  - 12/16現在の応募状況はWebアクセス数が1600件、応募URLサイトまでのアクセスが140件、小論文提出までが10名弱と大変低迷している。
  - 募集人数は100名から150名を予定している。達成に向けて委員会の先生方には1人最低5名位の動員協力を要請したい。  
※四国のある大学からは大学が交通費を負担しても学生を参加させたい。その際の随伴の可否などの問い合わせが入っている例もある。
- (2) 主な意見
- 当日は産学連携推進プロジェクト委員会の委員の方々の参加は可能ですかとの意見があったが勿論可能であり、多くの参加を期待するとの意見であった。
  - 審査方法について委員（先生）の方を代表で5名位選び、点数を付けるなどして順位をつけ選定してはとの意見があった。
  - 応募者の一覧をEXCEL表で打ち出し、審査委員の先生に10点満点で点数をつけていただき平均点をつけ審査するという意見もあった。その際、応募者の大学名、氏名は伏せて番号のみの表示として選定してはとの意見もあり、ほぼこの方向で審査することに決まった。
  - 審査委員の代表者は本日の出席いただいている先生を中心に、選定することとし向殿委員長、大原副委員長、白崎委員、辻村委員、松本委員、青木アドバイザーの6名が代表として1月に審査することで決った。
  - 資料1の未来を切り拓く志を支援する「社会スタディの場」の参加募集要項の2ページ目で、プログラムの進め方、報告書の提出、「終了証」の発行となっているが、「修了証」が正しいのではとの意見があった。これには至急、Webサイトを確認し対処することにした。

2. 第5回産学連携人材ニーズ交流会の進め方について

- (1) スケジュール、内容について
- 開催日程を慶應義塾大学の國領先生の都合により、当初の3月5日から3月10日に変更した。
- ① 13：40～平成25年度から総務省の事業としてスタートした「今後育成が望まれる実践的ICT

人材像とその育成に向けた産・学・官連携の取り組み」について慶應義塾大学 常任理事 國領二郎氏より基調講演をいただく。

- ② 14：20～八戸学院大学 大谷学長から地域の課題解決人材を育成する起業家養成講座の取り組みを説明いただく。
- ③ 15：10～IPA の大島産学連携推進センター長に産学連携教育の実践力評価基準活用ガイドの紹介をいただく。IPA さんの説明は先回の委員会での意見を踏まえプログラムの前の方に持ってきた。
- ④ 15：40～大学教育に対する卒業生の反応では大学教員の企業現場研修協力企業の若手社員から大学教育に対する感想や意見を体験に基づいて披露いただき、大学教育の改善に向けた意見交流を行う。
- ⑤ 16：30～大学教員の企業現場研修の取り組み報告では簡単な報告とする。
- ⑥ 16：40～学生を対象とした連携事業「社会スタディの場」の取り組み報告も簡単に報告する。
- ⑦ 17：00 閉会
- ⑧ 17：15～情報交流会

## (2) 主な意見

1. プログラムの内容にマッチするよう開催要項の「開催趣旨」を見直した方がよいという意見があり、再度見直すことにする。
2. 14：20 からの「事例紹介と討議」で50分としているが、二つに分けて事例紹介20分、討議30分とし、討議のテーマも作り内容も表現した方がよいという意見があった。
3. 15：40 からの大学教育に対する卒業生の反応のところは、意見交流とし企業の方々にも発言していただき意見交流を盛り上げた方がよいなどの意見が寄せられた。
4. シナリオとしては ICT 人材育成を大学の中で横断的な学びや地域社会との関係の中で複眼的な学びに取り組んでもらい大学の教育改善を見定めていく。時あたかも総務省（国）が今年度打ち出したオープンイノベーションの動きをとらまえて國領先生より「今後育成が望まれる実践的 ICT 人材像とその育成に向けた産・学・官連携の取り組み」の構想を踏まえ、講演頂きどのように教育改善に活用できるかを考える流れとしたいという意見であった。
5. 当日の司会進行について、休憩の前までは大原先生、後半は向殿会長が担当するとの意見もあったが、若手委員に引き継ぐ意味で委員長、副委員長以外の先生を検討する意見があった。15：40 の「学教育に対する卒業生の反応」からは田辺先生が進行し、ここでは企業の人達も一緒に入り50分の中で意見交流する内容で進める。また、青木先生も進行前半の進行に関わっていただくことで決まった。従って当日は向殿委員長、大原福委員長、田辺先生、青木先生が壇上に上がり全体の進行を進めることで決まった。

## 3. 大学教員の企業現場研修について

現在計画している2社の（案）について事務局より説明があり、今週中（12/20 まで）に全国会員校に案内する予定である。

### (1) 株式会社内田洋行の開催要項（案）

#### 専門商社における「情報の価値化・知の協創に向けた社員教育」の現場研修

情報技術の発達によりビジネスのスタイルが刻々と変化している中で、世の中にあふれる大量の情報を「知識」として活用し、新たな価値を生み出す仕組みをデザインすることが必要不可欠となっています。

この研修では、創業100年を超える専門商社が、企業のグループビジョン「情報の価値化と知の協創をデザインする企業」を目指して取り組んでいる人材育成の考え方や仕組みについて紹介します。

その上で、価値創造に対応できる大学教育のあり方について若手社員や管理職を交えて、企業の求める人材と大学

に求められる教育について意見交換を行います。

1) 研修概要とスケジュール

- 10:00-10:20 **会社概要と事業領域の紹介** 20分  
内田洋行の会社概要・事業等について紹介します。
- 10:20-11:30 **UCHIDA ライブオフィス見学** 70分  
働き方と働く場の革新『Change Working』を自ら実践し、生産性が高く躍動的なワークスタイルの実現と省エネルギーの両立に挑戦しているライブオフィスを見学します。時代の要請に応じて柔軟に変化できる空間や ICT を活用した空間をご覧ください。また、学校内アクティブラーニングスペースやフューチャークラスルーム®も見学・体験していただきます。
- 12:30-13:10 **産学連携によるキャリア人材育成の事例紹介** 40分  
1966年に研修事業をスタートした豊富な研修実績からの企業と大学のマッチング、産学連携によるキャリア教育の実践について事例を交えてご紹介します。
- 13:10-14:20 **新卒採用基準と社員教育プログラム等の紹介** 70分  
新卒採用基準や社員教育プログラムを通じて、「情報の価値化と知の協創をデザインする企業」を目指して取り組んでいる人材育成の考え方や仕組みを紹介します。
- 14:20-14:40 休憩 20分
- 14:40-15:50 **プロダクト企画開発業務の紹介と意見交換** 70分  
企画若手社員からの業務の内容、必要なスキル、ICT企業の最新の課題や実態を紹介します。また、管理職からの求められる人材像、キャリアアップについての考えなどを紹介するとともに担当者との意見交換を行います。
- 15:50-17:00 **システムエンジニア業務の紹介と意見交換** 70分  
システムエンジニア若手社員からの業務の内容、必要なスキル、ICT企業の最新の課題や実態を紹介します。また、管理職からの求められる人材像、キャリアアップについての考えなどを紹介するとともに担当者との意見交換を行います。
- 17:00 **閉会**  
※ 研修終了後、簡単な交流会を予定しております。
- 2) 研修企業 株式会社内田洋行 (株式会社ウチダ人材開発センタ)
- 3) 開催時期 平成26年2月21日(金) 1日間
- 4) 開催場所 株式会社内田洋行 東京都中央区新川2-4-7  
アクセス : 東京メトロ 日比谷線「八丁堀」駅徒歩4分 JR京葉線「八丁堀」駅徒歩5分  
: 東京メトロ 日比谷線・東西線「茅場町」駅徒歩5分
- 5) 募集人員 20名
- 6) 費用関係 ・交通費、昼食費、宿泊費は大学負担(各自手配)  
・会場、資料、講師、湯茶費用は企業負担、交流会費用(@¥2,000円)は各自負担

(2) 日本電気株式会社の開催要項(案)

**技術開発から社会での活用までを担う ICT 企業の現場情報の研修**

社会に貢献し、新たな価値を社会とともに創造していくためには ICT の専門知識だけではなく、幅広い知識や柔軟な考え方、コミュニケーション能力などが求められます。

本研修では、日本を代表する ICT 企業が社会に役立つ先端技術を開発し、その技術を用いて製品やサービスを提供している事例や ICT 企業ならではの幅広い復興支援活動について紹介し、企業の現場ではどのような人材を必要とし、そのために必要な教育とは何かを考える機会としていただくことを目指します。また、社員教育制度の紹介や、若手社員との交流を通じて、企業の求める人材と大学に求められる教育についての意見交換を行います。

1) 研修概要とスケジュール

- 15:50-17:00 **NECの事業概要と事業戦略の紹介** 40分  
人がより豊かに生きるための社会価値創造をめざし、インフラで未来をささえるNECの事業概要・事業戦略等をご紹介します。

- 11:10-12:00 **NECの最先端取り組み事例紹介と意見交換（1）顔認証** 50分  
世界最高水準の評価を持つ顔認証技術を活用した事例（U S J様での顔パス入場、三井住友信託銀行様でのスマホ顔認証など）の新たな価値創造をご紹介します、意見交換を行います。
- 13:00-13:45 **NECの最先端取り組み事例紹介と意見交換（2）復興支援** 45分  
復興をICTで支援する取り組み（コミュニティ形成、産業振興、ネットワークなど）や、社会に貢献する企業として復興支援活動（チャリティーコンサートなどの応援イベント、がれき撤去ボランティア活動など）についてご紹介し、意見交換を行います。
- 13:45-14:45 **NECの社員教育制度について紹介と意見交換** 60分  
社会にイノベーションをもたらす、常に成長し続ける人材を育成する社員教育制度について説明し、意見交換を行います。
- 14:45-15:00 休憩 15分
- 15:00-16:00 **大学教育に求める人材育成について** 60分  
企業側から大学教育に求める人材教育や大学における教育と企業における研修の違いなどについて説明し、交換を行います。
- 16:00-17:30 **若手社員との意見交換** 90分  
社会人になってから今までの経験を通じて、大学時代にやっておけば良かったと思うこと、大学時代に役立った経験・授業はどの様なことだったかなどについて発表し、意見交換を行います。
- 17:30 **閉会**  
※ 研修終了後、簡単な交流会を予定しております。

- 2) 研修企業 日本電気株式会社  
3) 開催時期 平成26年3月7日（金） 1日間  
4) 開催場所 日本電気株式会社 本社ビル2F 東京都港区芝5-7-1  
アクセス : 都営三田線「三田」駅 「A10」出口より徒歩1分  
: JR山手線 「田町」駅 三田口（西口）より徒歩5分  
5) 募集人数 20名  
6) 費用関係 ・交通費、宿泊費、食事費用は大学負担（各自手配）  
・会場、資料、講師、湯茶費用は企業負担、交流会費用（@¥3,000円）は各自負担

#### 4. その他

委員から昨今、海外の人や派遣社員採用などの人材採用傾向について、状況を知りたいという意見があり、賛助企業の方々から最近の状況が紹介された。

F社：企業戦略の一環としてグローバル化を意識し、正社員として日本人と同じ位置づけの面接などを経て採用する。海外の人達は日本人に比較し自己PRが上手い。派遣採用はない。請負発注として外部の力活用しておりローカル化で多様性を組織にということや海外との競争戦略上海外の人達の採用が増えつつある。社会貢献で障害者の採用にも力を入れている。

I社：昨年、東南アジアのIT企業を買収した。国内市場がメインのためそれほど海外の人の採用は少ない。開発などでアウトソーシングで外国人が入っている例はある。

H社：グローバルを目指しておりダイバシティ、多様性、コスト力を重視し、海外の人材採用を意識し始めてきたがまだ日本人の採用が多い。

N社：比率は日本人採用が多い。日本の大学で学び日本の文化や言葉を理解している人たちの採用機会が増加した。コミュニケーション能力は日本人と遜色ない。海外人の採用より日本人の方がまだ多い。

U社：従来ばらばらの対応であった海外戦略を遅ればせながら、海外統括本部を設け、数人/年海外に行ったり、来てもらったりする制度がスタートした。また、派遣社員の採用は一部ある。SEはアウトソーシング、業務委託などで常駐していただき対応している。定年者の再雇用も重視し始めてきた。

5. 次回開催日程 平成26年2月25日（火） 午前11時～午後1時 アルカディア市ヶ谷にて

